

「中学生とのカフェ・ド・ギカイ」を受けての議会の回答

回答 種類	質問 1：学校生活をより良くするためには？	まち づくり	くらし づくり	議会の回答
給食	①給食が2品の日が寂しい。		○	常任委員会で調査研究を続け、児童生徒が望むような給食になるような提言につなげていきます。
	④給食＆昼休みの時間が短い。		○	
教育	①タブレットを家に持ちかえれるようにする。		○	学校及び家庭での学習環境に見合った有効活用し、適切な宿題についても教育委員会において検証するよう提言します。
	②授業ではデジタル教科書を使い、資源の有効利用をすべきだと思う。 また、学習効率のため、プリントではなくノートを使う。		○	
	③宿題を増やす必要性がある。(特に1, 2年。)		○	
	②体育祭などの行事を増やす。		○	生徒の意志を尊重した行事計画となるよう、町教育委員会から各校に指導するよう提言します。
	②部活動の時間が短い。(コロナ禍だから仕方ないが、もう少し時間が伸びてほしい。)		○	国において部活動の民間移行への検討が始まってきたことをふまえ、本町においても練習時間や練習環境を含め、より充実した部活動の在り方を再度、教育委員会で検証するよう提言します。
	②朝練を可能にする。→他の多くの市町村では行っているから。(例：さくら市他)		○	
	③朝練を可能にしてほしい。		○	
	④芳賀町のように、体育の水泳の授業で室内プールを使いたい。		○	室内プール整備や民間委託など様々な手法がある中、どのようなものが良いか常任委員会で調査研究していきます。

回答 種類	質問１：学校生活をより良くするためには？	まち づくり	くらし づくり	議会の回答
施設	①教育施設の充実。(校舎、グラウンド等の改修等)		○	利用する生徒の声を受け止め、早期に点検や改修につながる仕組みづくりを作るよう提言します。
	①グラウンドのネットをはり替えてほしい。			
	③部活動では、陸上部とサッカー部とテニス部等は、求めるグラウンドの質が違うため、それぞれに合った場所を用意する必要があると思う。		○	
	①校舎の床などの点検をより多くの回数で行う。		○	
	②近年地震が増えているため校内の安全確認。			
校則	①くつ下やくつ、リュックの色の自由化。髪型などの緩和。マスクの色の自由化。鏡の設置。		○	今の時代に即した校則になるよう、生徒と学校が協議を進めるよう、教育委員会から各校に指導助言するよう提言します。 また、行き過ぎた校則がないか教育委員会で適時点検するよう提言します。
	②校則の改正が必要である。		○	
	①生徒達が話し合い、校則を決める。 ➡先生方の意見が反映されすぎている。		○	
	①校則を全員がしっかり把握する必要性がある。		○	
	①校則は現在のままで良いと思う。		○	
	②校則を見直す。		○	
統合	③中学校や小学校を統合する。➡部活動が増える。		○	適正化委員会の結論が待たれる中ではあるが、児童・生徒の声や今後の社会情勢を見たうえで、町としての考え方をしっかりと整えていくよう提言につなげていきます。

回答 種類	質問２：町全体として必要なことは？	まち づくり	くらし づくり	議会の回答
P R	④高根沢のシンボルをつくる。	○		町の魅力の一つである田んぼを活かした新たなシンボルを創る政策など、町の魅力を訴える新たな構想に取り組むよう提言します。 鬼怒グリーンパークが、より幅広い年代が利用できる施設や事業を創造するよう、県等の関係機関に要望するよう提言します。
	①リゾート開発。(鬼怒川を利用した遊び等)	○		
	③広場などに季節に合わせた展示物。 (クリスマスツリー・七夕など)	○		
	⑤田んぼを活かしたアート。	○		
整備	②信号などの設置を行う。		○	道路の危険箇所については、担当課のパトロールや、郵便局との協定による連携、町民からの通報等により、早期発見の仕組みが構築されていると思うが、今後も引き続き、危険箇所の早期解決に努めるよう提言します。 生徒が日々感じている通学路の危険箇所や要改善点に対し、声を聞く機会を作るよう提言します。
	①桑窪～芳賀に行く道に柵かガードレールが必要である。	○	○	
	④一方通行が多い、道路が狭いところが多々ある。	○	○	
	②道路を整備する。(特に農道。)→穴が空いていたりして、危険だから。	○		
	②道はばを広くし、街灯をつける。	○		
	①安全を考えた道路の改修。	○		
	①道の整備をする。	○		
	③道が凸凹していてあぶないので、道を整理する。	○		
	①道路の整備が全てに行き届いていないと思う。	○		

回答 種類	質問２：町全体として必要なことは？	まち づくり	くらし づくり	議会の回答
整備	⑤自然が多くて良いが、整備されていない山や森、草むらが多い。	○		町有地については、草の繁茂がないよう、適切に管理し、民有地においても、道路の通行に支障がある場合は、適切な指導をするよう提言します。 住民による河川愛護活動が困難になってきている地区もあることから、状況の改善に努めるよう提言します。
施設	①スポーツ施設の充実。(サッカー場や野球場、ランニングできる施設の充実)	○	○	スポーツ施設や公園などがより充実するよう、新庁舎の整備に合わせて協議していくことを提言します。 学校施設や生涯学習施設において、利用者の声を尊重した改善、修繕をするよう提言します。
	①公共施設をきれいにする。(使いやすくする。) →北中、町民広場テニスコートがデコボコすぎる。(プレーに支障が出る。) 【メイン：くらし カブ：まち】			
	②子どもが学べる・遊べるブース(公園や自習ブース)を増やしてほしい。 【公園：まち 自習ブース：くらし】			
教育	①老若男女が楽しめる公園みたいなものをつくる。 (大型施設)→人が集まる。→店が集まる。→道が整えられる。	○		小中学校間の交流について、児童生徒や教員とで検討することや、提案された事業が構築できるよう、教区委員会が各校に指導助言することを提言します。 学校活動での外部指導員のより幅広い活用について、調査・研究を行い、より良い教育につなげることを提言します。
	②高根沢町内小中学校の交流。		○	
	②教育制度を豊かにする。		○	
	③教育については、街の人とのふれ合いを増やし、電子機器を使った学習を積極的に取り入れるべきだと思う。		○	

回答 種類	質問 2：町全体として必要なことは？	まち づくり	くらし づくり	議会の回答
コミュニ ケーショ ン	①地域の人と関わる機会がもう少しあって良い。	○		中学生と地域の人との関わりといった世代間の交流は、コミュニケーションを通してお互いに学び合える貴重な場です。 単に参加するだけではなく、自ら働きかけたり、企画したりする機会もあっていいと思います。時には十代ならではの知識や技術、若者の文化などを大人に教えてあげるといった関わり合い方もいいと思います。 関わりを通しての成功体験が、将来「大人になっても住み続けたい町」や世代間の継承にもつながっていくと思います。 いくつか例示すると、町内 3 駅の清掃や草取り、安全な通学についての周辺住民との話し合い、学校行事への招待や地域行事への参加、スマホやパソコンなどデジタル機器の使用方法や若者文化講座（中学生が講師）などです。 こういった機会の実現に向けて、学校内で話し合ったり、先生や P T Aなどに相談するのも一つでしょう。

回答 種類	質問２：町全体として必要なことは？	まち (担当)	くらし (担当)	今後の議会の対応
店	②飲食店を充実させてほしい。	○		飲食店や小売店が増えるためには、人口増加が必須と思われることから、「定住人口増加プロジェクト」を着実に進め、市街化調整区域の人口減少を防ぐ施策を行うことを提言します。 飲食店など購買環境の充実について、町から関係機関へ働きかけを行い、協働による町・地域づくりに取り組むよう提言します。
	①飲食店を増やしてほしい。	○		
	③東小学校区内にコンビニが１つほしい。	○		
	③店舗の量が地域によって異なっている。	○		
	①営業していない古いお店の場所にお店を作る。 →日本より賃金の安い国の人たちに働いてもらう。	○		
	①スーパーを増やす。	○		
	①あまり知られていない商店の広告。	○		